

第1回岡崎市総合政策指針審議会 会議録

委員

あいち三河農業協同組合 代表理事組合長	天野 吉伸	委員
同志社大学 教授	入江 容子	委員
岡崎信用金庫 理事	氏原 久元	委員
東京大学 教授	小川 光	委員
名古屋都市センター センター長	奥野 信宏	委員
岡崎商工会議所 会頭	大林 市郎	委員
岡崎市医師会 会長	小原 淳	委員
連合愛知三河中地域協議会 副代表	北村 隆一郎	委員
岡崎市総代会連絡協議会 会長	長坂 秀志	委員
岡崎市教育委員	福應 謙一	委員
名古屋大学 教授	福和 信夫	委員
愛知産業大学 学長	堀越 哲美	委員

(事務局)

総合政策部 部長	永田 優
総合政策部企画課 課長	岡田 晃典
総合政策部企画課 副課長	木下 政樹
総合政策部企画課 係長	鈴木 昌幸
総合政策部企画課 主事	藤井 聖士

日時 令和3年10月8日(月)

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面にて実施。

【会長の総括意見】

目標達成・未達成にかかわらず全体的に新型コロナの影響が見られた。今後はコロナ禍による影響を分析し、今後の感染症対策を見すえながら、コロナ禍に合わせた施策内容について検討を進めて欲しい。

また今回の経験を活かし次につながる施策の推進を考えて欲しい。

【各委員の主な意見】

○「阿知和工業団地」や「東岡崎駅周辺の開発」は企業誘致、観光誘致や商業の発展、雇用創出に多大な好影響を与えるもので施策を継続していくことが重要である。

- UIJ ターン就業や中小企業育成支援、観光おもてなし環境整備、子育て世代女性の就活支援等、今後は施策の在り方やニーズの変容が見込まれる事業が多くある。
オンラインツールを活用するなど、事業実施手法についても検討を進めて欲しい。
- 看護・介護、子育て、防災などの基幹的かつ生活、安全にかかる事業については、どんな状況でも推進力を弱めない方策が必要である。
- 工業団地誘致はスピード感を持って積極的に進めていくことが必要である。特に他市の補助制度を比較検討し、岡崎市独自のインセンティブを分かりやすく発信して欲しい。
- 創業支援は、支援を希望する方々を待つという受け身の姿勢だけではなく、創業ニーズを掘り起こすようなプッシュ型の支援も研究していただきたい。
- 保育士の就労支援は、とりわけ復職された方々が働き続けることができるようなアフターフォローについてもどこかで行って欲しい。
- 潜在看護師の復職支援はコロナ禍において非常に重要な施策でもあるため、県との共催や他自治体との連携における共催など、多様な手法を検討して欲しい。
- 後継者不足による廃業や空き店舗・土地の放置問題は、対策が遅れた分だけそれに対処するコストが増大していく性質の問題のため、地域金融機関と協力するなど、問題への取り組みが必要である。
- 若者の居住定着は将来の岡崎市の基盤の要となるものであり、就労や子育て、教育や医療の環境が整っていない所には人は寄り付かない。空家バンクやリフォーム支援、就労支援など総合的かつ重層的な取り組みが必要である。
- 西三河の広域連携についての検討が望まれる。
- 児童・生徒一人一人にタブレット端末がこれからの学校教育のために重要なことである。
学習効率を高めるために、担当教員とともに学習指導協力体制を構築して欲しい。
- 子どもや若者を始め、多くの人々の活力になるように、これから国際大会や国内の大きな大会誘致に向けて働きかけを継続して欲しい。